

公告 昭 38.9.2 出願 昭 37.8.29 特願 昭 37-36898

発 明 者	川 原 田 政 太 郎	東京都文京区駒込上富士前町 122
出 願 人	株 式 会 社 コ バ ル	東京都板橋区志村町 2 の 25
代 表 者	笠 井 正 人	(全 2 頁)

トランジスタモーターの起動装置

図面の簡単な説明

第 1 図は本発明にかかる起動装置の一実施例、
第 2 図は他の実施例を示すものである。

発明の詳細な説明

本発明はトランジスタモーターの起動装置に関するものである。一般に回転子に永久磁石を使用し、回転子の周辺に発振コイルと電磁コイルとを対設して発振コイルの一端をトランジスタのベースに、他端をエミッターに接続し、さらに電磁コイルの一端を前記トランジスタのエミッターに他端を電源を介してコレクターに接続する形式のトランジスタモーターは、起動時における回転方向によつていかなる方向にも回転を接続するものであるが、最初何等かの手段で外部より起動を与えない限り回転子は起動しない。この為この種トランジスタモーターに対しては電磁的あるいは機械的に種々の起動装置が提案されている。

本発明は上記の事情にかんがみ、特に時計用トランジスタモーターに適する起動装置を提供せんとするものである。

図示した実施例に基きこれを説明すれば、Tはトランジスタ、 L_1 および L_2 は永久磁石回転子Rの周辺に設けられた発振コイル、Eは直流電源1はストッパー2aを有する横杆2に固着された永久磁石片、3は前記横杆2を第1図において上方に押圧するためのスプリング、4は横杆2に取付けられた押釦5,6,7は横杆2を揺動自在に支持す

る基体である。さらに第2図において、8は枢軸10に回転自在に軸支されたレバー9の先端に固着された永久磁石片、9aはレバー9の端部に形成された押釦、9bは前記レバー9を時計方向に索引するスプリング、11および12はレバー9の回転範囲を制限するストッパーである。

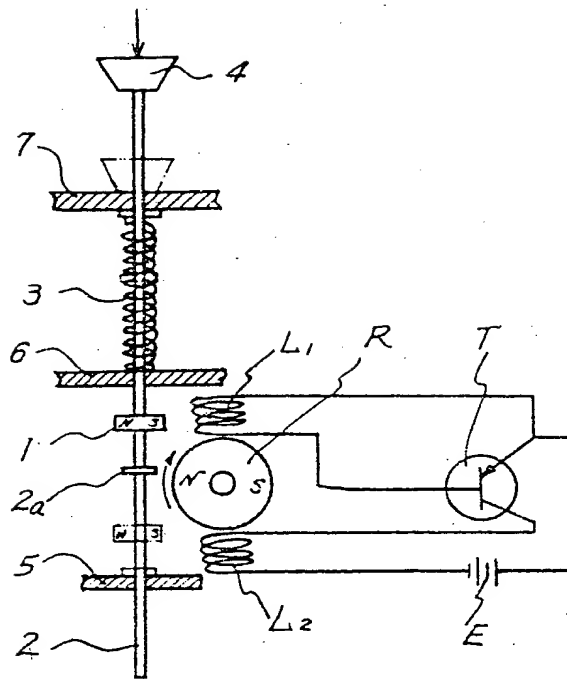
本装置は以上のごとく構成されるが、起動に際して押釦4あるいは9aをスプリング3あるいは9bに抗して矢印方向に押し下げれば磁石片1あるいは8はそれぞれ回転子Rの附近で点線で示された位置まで移動する。この位置で押釦4あるいは9aの押圧を解除すれば、磁石片1あるいは8はスプリング3あるいは9bの弾力により実線位置まで急速に復元しこの運動に伴い磁石回転子Rは矢印方向に起動するものである。この場合押釦4あるいは9aを押す行程すなわち、磁石片1あるいは8が実線位置より点線位に移動する際磁石回転子Rを起動させることが出来るようにし得ることは勿論である。

上記のごとく本装置は回転子の附近に単に永久磁石片を移動可能に配置するに過ぎないものであるから、特に複雑な装置を必要とせず、極めて有効な起動装置を提供しうるものである。

特 許 請 求 の 範 囲

1. 本文に詳記のごとく、磁石回転子の周辺附近において永久磁石片を移動可能に配設したトランジスタモーターの起動装置。

第1図



第2図

